

社会資本総合整備計画 事後評価

令和3年3月
【担当及び関係課】都市整備局公園整備課、道路交通局道路計画課

計画の名称	水と緑が輝く安全で快適なまちづくりの推進（Ⅱ期）		
計画の期間	平成27年度 ～ 平成30年度 （4年間）		
計画の目標	広島市は、水と緑が輝くうるおいのある国際平和文化都市の実現を目指し、豊かで美しい自然環境を生かしつつ、安全、快適で美しい都市景観を有する質の高い都市環境の創造に取り組んでいる。近年の地球温暖化やヒートアイランド現象等の環境問題への対応及び災害時における避難場所として公園緑地が大きな役割を果たすことが期待されており、都市における公園・緑地の更なる整備を進める。また、平和記念公園については、トイレのバリアフリー化および園路の舗装を行い、水と緑が輝く安全で快適なまちづくりを推進する。さらに平和記念公園へのアプローチとなる歩道橋整備事業を行い、公園を訪れる観光客等の安全性向上に寄与する。		
計画の成果目標（定量的指標）	・都市における水と緑の公的空間である公園・緑地面積をH27年度からH30年度までに一人あたり0.01㎡増加させる。 ・平和記念公園を訪れる観光客等を安全に誘導するため、歩道橋を整備し、通行する歩行者、自転車を現状より1割増加させる。		
定量的指標の定義及び算定式			定量的指標の現況値及び目標値
			当初現況値 中間目標値 最終目標値
			(H27当初) (H29末) (H30末)
	計画期間内に本市整備により供用開始される一人あたりの都市公園の面積	7.73 ㎡	- ㎡ 7.74 ㎡
	平和大橋歩道橋の歩行者・自転車の12時間（9～21時）の通行量	3,324 人+台	- 人+台 3,656 人+台

評価事項

1. 要素事業の進捗状況

事業費	H27	57 百万円	○基幹事業 (1)当初の計画通り公園緑地の整備を実施した。 ・都市公園事業(河岸緑地) → 東部河岸緑地及び西部河岸緑地の整備を行った。 ・都市公園事業(平和記念公園) → 平和記念公園のトイレのバリアフリー化及び園路の舗装整備 (2)当初の計画通り道路の整備を実施した。 ・平和大橋歩道橋整備 → 平和大橋歩道橋の整備を行った。
	H28	133 百万円	
	H29	87 百万円	
	H30	215 百万円	
		百万円	
	合計	494 百万円	

2. 事業効果の発現状況、目標値の実現状況

要素事業の 効果の発現状況	【完了した事業】 ○基幹事業 ・ 平和大橋歩道橋整備 当初の計画通り、平和大橋歩道橋を整備し、公園を訪れる観光客等の安全性の向上を図った。			
	○効果促進事業 ・ 沼田第三公園整備事業 当初の計画通り、沼田第三公園の新設整備を実施し、水と緑が輝く安全で快適なまちづくりを推進した。			
	【継続、移行する事業】 ○基幹事業 ・ 都市公園事業(河岸緑地)及び都市公園事業(平和記念公園) 当初の計画通り、東部河岸緑地及び西部河岸緑地の整備や平和記念公園のトイレのバリアフリー化及び園路の舗装整備を実施し、水と緑が輝く安全で快適なまちづくりを推進した。			
目標値の実現状況	指標： H27年度からH30年度までに本市整備により供用開始される一人あたりの都市公園の面積を7.74㎡確保する。			
	中間目標値（H29末）	最終目標値（H30末）	目標値と実績値に 差が出た 要因	成果目標の達成状況：目標達成
	-	7.74㎡		
	中間実績値（H29末）	最終実績値（H30末）		
	-	7.83㎡		
	指標： 平和記念公園を訪れる観光客等を安全に誘導するため、歩道橋を整備し、通行する歩行者、自転車を現状より1割増加させる。			
	中間目標値（H29末）	最終目標値（H30末）	目標値と実績値に 差が出た 要因	成果目標の達成状況：目標達成
	-	3,656人+台		
中間実績値（H29末）	最終実績値（H30末）			
-	3,947人+台			
要素事業に併せて 実施した他事業の 効果の発現状況、 及び本計画以外に 設定した目標値の 実現状況				

3. 今後の方針

継続中の要素事業については、今後も平成31年度より新たに策定している社会資本総合整備計画「水と緑が輝く安全で快適なまちづくりの推進(Ⅲ期)」へ移行し、引き続き整備を行っていく。
4. その他特記事項